

# 2022年度（令和4年） 自己評価・学校関係者評価報告書

学校法人 西南女学院

西南女学院大学短期大学部附属シオン山幼稚園

## 1. 本園の教育目標

- ・キリスト教保育を基盤とした愛と命の大切さを知る。
- ・友だちと一緒に遊んだり活動したりすることを喜ぶ。
- ・知的な好奇心と感動する心を持ち、主体的に考え行動する。

## 2. 本年度の重点的に取り組む目標・計画

コロナ禍の生活が続く中、引き続き衛生管理を徹底しながら、行事や普段の保育を可能な限り実施し、幼児一人ひとりの思いを大切に受け止め幼児理解に努め、主体性や協調性が身につくよう関わる。

## 3. 評価項目の達成及び取り組み状況

評価 A：達成している B：一部達成している C：一部改善を要する D：改善を要する

評価内容	評価	評価の理由や取り組み内容
保育内容と計画	B	感染防止に努めながら保育内容を考え、行事も実施してきた。保育計画が適切だったか、もっと子どもの実態に応じた対応ができていたかなど見直しが必要だ。
衛生管理	A	幼児の体調管理を保護者にも促し協力いただいた。毎朝の検温確認、手指消毒の徹底やマスク着用、アクリル板の設置で飛沫感染防止に努めた。換気にも十分気を付け、室内の家具、遊具、玩具の消毒を徹底して行った。
教職員相互の協力・連携・役割	B	毎日の終礼や週日案、月案での打ち合わせは行っているが、「報告・連絡・相談」は全員が徹底できていない場合もあった。2人担任でグループでの連携はとれてはいるが、他のグループとの協力や園全体での保育の確認や役割の徹底が不足していた。

## 4. 幼稚園評価の具体的な目標の総合的な評価結果

評価 A：達成している B：一部達成している C：一部改善を要する D：改善を要する

評価	理由
B	自己点検・自己評価を行い自分の今後の課題や園全体での改善点も確認することができた。改善点をしっかり話し合い、保育計画をもとに教師との連携をしっかりとりたい。今後は、園内研修での学びを増やし、教師一人ひとりの保育の質の向上に努め、幼児理解を深めたい。

## 5. 今後取り組む課題

課題	具体的な取り組み方法
保育の在り方	毎日の保育の振り返りを翌日の保育に活かしたり、幼児が主体的に活動できるような環境や教材を準備したりする。
特別支援教育	支援を必要とする幼児に対して、丁寧に関わり個人の指導計画の作成やその子に適した環境づくりを行う。家庭や関連施設との連携に努める。
安全管理	幼児の動線を配慮した安全な環境づくりをする。全ての危機管理マニュアル作成に努め、いろいろな対応をスムーズに行えるよう自分の役割を確認する。

## 6. 学校関係者評価委員会の評価

今年度もやむを得ず、中止になった行事もありましたが、検温徹底、人数規制を行いながらも出来るだけ行事を復活して下さり、子どもたちにとっても、同じ目標に向かって日々練習する楽しさや団結する大切さを経験できたことと思います。

先生方は積極的に関わり、どんな子どもなのか理解しようとする姿勢が保護者にも伝わっています。自分だけでなく、相手の気持ちも考えられるように指導してくださっていることが、子どもの言動から伝わってきました。

今後も子どもたち一人ひとりに寄り添い、それぞれの個性を育てる園になってほしいと願います。

学校関係者評価委員

学校関係者評価委員

学校関係者評価委員

委員会実施日

令和5年3月24日